

- 一 工場閉鎖せむ事
- 一 休職者と絶対に出さざる事
- 一 解雇者と名を御職とする事

(李、石田、森河、中山、清水、赤倉、坂他)

- 一 健康保険法の掛金會社全額負担する事
- 一 休職者に対し休職中日給の八割を支給する事
- 一 石川と子に対し傷害保険料二百円支給する事

右 要 承 書

昭和二十五年五月二十四日

赤線校法会工場従業員等代表團

仁丹の製産品をホイットせよ!

一昨月工月第一回争議勃發當時赤線工場の大株主である廣生庵彼、森下は工場へ来て從業員を召集し、自分の敗産はいくらでもあるとか、不動産はいくらあるとかとひかくとゴ託を述べ、從業員の生活は俺が絶対担保する大船に乗った気で安心して働け言々と温情主義を稱へたが其の舌の根の乾かぬ今日、吾々從業員に全然關係のない十五銀行の休業とか事業不振とか自分の都合のよい事ばかりを述べ、大船もたまには暗礁に乗り上げることがあると二百名の從業員に五百分乃至十日位の減金で飢饉の街頭に抛り出した。彼森下は人道主義、皇室中心主義、非訴訟主義、美名を隠してこんな奸手段を以つて労働者を虐使してゐるのだ! 吾々は此種積累なる奸手段に激怒して激起し、一最早で一月間に至つて戦ふのである!

仁丹森下の小僧から赤線の重役に變つた中村、丸尾の重役は毎日争議団の代表と會見の際、森下は此會社何の關係もないと苦しい弁明をした。然し全然關係のないものが何故争議中に大股から愈々出て来て豪語を吐いたのか! なる程、赤線検査農株會社の株主名簿中に森下傳存の名義は有り、森下長藏、森下花子、森下次子、岩橋美三、奥田善之助、中村竹次、丸尾等の大株主は皆仁丹森下の娘であり、實に親類であり、顧問弁護士又は子分なるのだ! 彼森下が自分は全然關係がないといふは、こゝろの組織の中に森下の實に憎むべき奸策と偽購があるから。こゝろで自分の子供や子分を株主として、實権を彼自身に掌握しなから、子分も自分に不利益な事をおれば、自分の中村常務も、森下は赤線會社に何等の關係もないと言ふ例があるのだ! この驚愕奸策